



平成22年6月7日

卓話 『日本人がマルチリンガルになる日』

国際コラムニスト
TVコメンテーター/プロデューサー

ケビン・K・越智 様

ご紹介にあずかりましたケビンです。私の本は4冊ほど出てまして、そのうちの一つは「とんでも英語デリート事典」。これは日本の意味不明な英語について書いた本です。どういふことを書いたかという、英語圏の人が聞いて変だなと思う英語は日本語と考えるべきだという考え。例えばnon step bus。これはno stepかstair-lessの方がいい。日本語はもともと外来語の集大成で、漢字と和語が融合して万葉仮名になり、ひらがな、カタカナが発明されてっていう、世界で最も難しい言語の一つ。日本語は吸収力が強いけどどんどん外国語を取り込んでいくんですね。故に日本人が外国語を吸収しにくい。外国語が入って来た瞬間にそれを外来語に変えてしまうのが日本。そういうことを書いています。

言葉は耳からってよく言われますけどこれは間違い。言葉は目からです。人間が獲得する情報の80%は目から入ってくる。従って映像が無いものは言葉にならない。例えばメニュー、映像が浮かばないものは注文しないですよ。 「カツオのたたき」って書いてあったらカツオのたたきが思い浮かぶじゃないですか。だから注文できる。言葉は映像と結びつかない限り絶対身に付きません。そこで私は「ケビンのみるだけ英単語」、「みる単」発案しました。今日はそれをご覧に入れてご意見を伺いたいと思います。「みる単」は映像でどんどん単語を覚えてもらいます。それを今度は映像で思いついたまま並べてください。「I drink beer」「Drink beer I」「I beer drink」どれを言っても通じるんですよ。Oh you want a beer? そうなんです、単語は並べるだけ。それをネイティブの前でしゃべるとネイティブが並べ

替えてくれるんです。しゃべればしゃべるほど言葉は補正される。その瞬間、それは自分のものです。外国人で日本語を流暢に話せる人はこうやって覚えた。僕もこうやって覚えしました。ものすごいスピードで身に付きます。

中学生の840語が目指す一つ、高校受験レベルで1500ぐらい。これで十分しゃべれます。大学受験で2400から3000。そしたらもうかなりのレベル、それこそG20でも会話ができます。そうすると日本の政治家の方々もロン・ヤスじゃないですけど、もっと深い話ができちゃう。政治家の先生方にも是非トライしてもらいたいって思います。

このパッケージ、おもては日本語で書いてあるけど中身は英語と映像だけ。つまりパッケージを変えればどこでも売れる。今度はその同じ映像に日本語や中国語、フランス語を張り付ける。映像1個撮るだけで全言語対応できちゃう。だから非常に効率よく世界中の人とコミュニケーションできるツールになると思います。携帯電話のメモリースティックにこれを入れてイヤホンで電車の中で見ただけ。小学校の先生たちが、これがあれば子供たちに遊びながら教えられるとおっしゃってましたけど、僕なりにいろいろやって来た中の一つとして提案させていただきました。

ご静聴ありがとうございました。

